

# 加速する国風化

唐風の文化を日本の生活にふさわしい形に作り変える「国風化」の傾向は、既に奈良時代から見られた。国風化は、唐への関心が薄れた9世紀末からさらに加速していった。従って10~11世紀に形成された文化を国風文化と呼ぶ。かな文字による物語や鎌倉仏教に繋がる浄土教が登場するなど、広く奥の深い文化と言える。

## ○加速する国風化の背景

### ●公的な交流の断絶—背景1

894年、<sup>(1)</sup> \_\_\_\_\_ は次の2点を理由に遣唐使中止を建議した。

①唐の衰退

②渡航の危険性（8世紀初めからの航路：<sup>(2)</sup> \_\_\_\_\_）

⇒唐との公的な交流は断たれた。

◇①②の他に、唐の商人との貿易を確立でき、公的な交流が不要になったから



907年、唐が滅亡し、その余波で周辺の国々に興亡が生じた。

→中国は<sup>(3)</sup> \_\_\_\_\_ に再統一され、中国東北部の渤海は<sup>(4)</sup> \_\_\_\_\_ に滅ぼされた。

→また、朝鮮半島の新羅は<sup>(5)</sup> \_\_\_\_\_ に滅ぼされた。

⇒公的な交流はなかったが、(3)(5)の商人が九州<sup>(6)</sup> \_\_\_\_\_ によく来航した。

◇僧以外の日本人の渡航は律で禁止



図1 8~9世紀の東アジア



図2 10世紀の東アジア

### ●中国への関心低下—背景2

9世紀末以降、中国の物品以外（文化・制度）に対する貴族の関心が低下した。

⇒醍醐天皇は正史（六国史）編纂を、村上天皇は貨幣（本朝十二銭）発行を止めた。

## ○国文学と国風美術の発達

### ●文字の発達

漢字をもとにした<sup>(7)</sup> \_\_\_\_\_ （平かな：草書体の簡略化、片かな：字の一部分）が発達した。

⇒公式な文書での（7）の使用は避けられたが、物語や日記では広く使われた。

### ●代表的な著作物

<かな物語>

『<sup>(8)</sup> \_\_\_\_\_』…かぐや姫の誕生や貴族の求婚失敗などを描く、最古のかな物語

『<sup>(9)</sup> \_\_\_\_\_』…主人公のモデルが在原業平である、和歌を中心とした歌物語集

『<sup>(10)</sup> \_\_\_\_\_』…11世紀初め、<sup>(11)</sup> \_\_\_\_\_ が光源氏の生活を題材に著したかな物語

<随筆・日記>

『<sup>(12)</sup> \_\_\_\_\_』…10世紀に土佐国で国司を務めた<sup>(13)</sup> \_\_\_\_\_ の日記

『蜻蛉日記』…藤原道綱の母の作で、藤原兼家に嫁いだ女性の苦悩を記した日記

『<sup>(14)</sup> \_\_\_\_\_』…菅原孝標の女<sup>(15)</sup> \_\_\_\_\_ の作で、少女時代からの体験を記した日記

『<sup>(15)</sup> \_\_\_\_\_』…11世紀初め、<sup>(16)</sup> \_\_\_\_\_ が宮廷生活の体験を著した随筆

『<sup>(17)</sup> \_\_\_\_\_』…藤原道長の「望月の歌」を書き留めた<sup>(18)</sup> \_\_\_\_\_ の日記

『御堂関白記』…<sup>(19)</sup> \_\_\_\_\_ が宮廷政治と日常生活の様子を記した日記



図3 紫式部



図4 清少納言

## <和歌集>

『<sup>(20)</sup> \_\_\_\_\_ 』…醍醐天皇の勅命で紀貫之らが編纂した勅撰和歌集

◇八代集…(20)から『新古今和歌集』(鎌倉時代)までの、8つの勅撰和歌集の総称



図5 紀貫之

## ●国風美術

蒔絵…漆で文様を描き、金銀の粉を固着させる漆器の技法

螺鈿…貝殻の一部を薄く剥ぎ、種々の形に切って漆器に埋め込む技法

<sup>(21)</sup> \_\_\_\_\_ …日本風景を題材とする絵画で、初期の画家は巨勢金岡が有名

<sup>(22)</sup> \_\_\_\_\_ …唐様に対する日本風の書体

…<sup>(23)</sup> \_\_\_\_\_ ・藤原佐理<sup>(24)</sup> \_\_\_\_\_ が有名)・<sup>(25)</sup> \_\_\_\_\_ の

3人は、<sup>(22)</sup> の達筆家として知られ、<sup>(26)</sup> \_\_\_\_\_ と総称

◇語呂…唐風(道風)は去り(佐理)て行くなり(行成)



図6 花札(蛙と小野道風)

## ○信仰の発達

### ●浄土教の布教

釈迦の死没後2000年が経つと(1052年)、釈迦の教え(解脱の方法)は効果を失い、

また、世の中は乱れるという考え<sup>(27)</sup> \_\_\_\_\_ が、一部の者のなかにあった。

→これらの者は、死後に阿弥陀仏(如来)の慈悲で仏の世界(極楽浄土)へ行き(往生)、

そこで仏の直接指導のもと解脱を遂げればよいとする教え<sup>(28)</sup> \_\_\_\_\_ を人々に説いた。

⇒貴族や庶民に(28)は広がり、信仰の対象である阿弥陀仏の美術品が作成された。



図7 阿弥陀如来像

### ●浄土教に関わる人物と著作

<sup>(29)</sup> \_\_\_\_\_ …10世紀、京の市で浄土教を説き、「市聖」と呼ばれた人物

<sup>(30)</sup> \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ ) …念仏による往生を説き、『<sup>(31)</sup> \_\_\_\_\_ 』を著した人物

慶滋保胤…往生した人の伝記を取録する『日本往生極楽記』を著した人物



図8 空也像

### ●浄土教と美術

#### <寺院と仏像>

<sup>(32)</sup> \_\_\_\_\_ …藤原道長が創建した、阿弥陀堂を中心とする寺院

<sup>(33)</sup> \_\_\_\_\_ …<sup>(34)</sup> \_\_\_\_\_ が建立した平等院の阿弥陀堂

…本尊の阿弥陀如来像は<sup>(35)</sup> \_\_\_\_\_ の作



図9 平等院鳳凰堂

◇<sup>(35)</sup> …末法思想を背景とする仏像の大量需要に応えるため、一木造に代わる<sup>(36)</sup> \_\_\_\_\_ の技法を完成させた人物

#### <絵画>

<sup>(37)</sup> \_\_\_\_\_ …死者の往生のために、阿弥陀如来が来迎する様子を描く絵画の総称

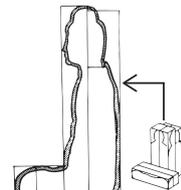


図10 寄木造

### ●浄土教以外の信仰

経塚…写経した経典を筒に入れて土中に埋納し、その上に築いた塚

<sup>(38)</sup> \_\_\_\_\_ …仏教信仰に神祇信仰の要素が融合する神仏習合のなか、神と仏の並存状態を説いた理論

人の救済のため、仏(本地)が神という仮の姿(垂迹)で現れたと納得・説明

<sup>(39)</sup> \_\_\_\_\_ …災いを起こす怨霊(例:菅原道真)や疫神を慰め、祟りを逃れようとする鎮魂の祭礼